

二連の虹(虹霓・虹蜺)と人工虹



写真提供：自然の現象科学館

村中 徳明

“虹(にじ; rainbow)”はいくら近づこうとしても決してその脚に辿り着くことはできない。英語の“rainbow chaser(虹を追う人)”は“空想家”を意味し、世界各国に虹の袂へ行くと宝物が埋まっているとか、願い事が叶う…とかいった“虹脚埋宝伝説”が残っている。人々は虹に憧れ、虹から夢をもらい、さまざまなイメージを膨らませてきた。鮮やかで多彩な、にもかかわらず儂い虹への思いを詩人たちは“虹色”と呼んだりもする。虹色は赤橙黄緑青藍紫(せきとうおうりよくせいらんし)をさす訳ではなく、色のロマンを託した表現なのかもしれない。しかし、実際には虹は空気中の水分がプリズムとなり、太陽光が分散した光の幻であり、その袂とい

HEADLINE

14 7 9 5 4 2
8 10 6 11
面 面 面 面 面

大阪大学と学術交流協定
学部を超えた学びの空間
平成18年度学校法人関西大学決算の概要
グローバルCOEプログラムに採択
特集 学生スタッフ活躍中

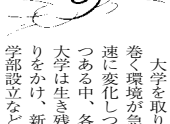
たときは、本当に存在するのだろうかと驚いたとその神秘性に感動したことを覚えている。そして、今でも密かに肉眼での遭遇を夢見ている…。

二連の虹において、普通に明るく見える方が“主虹(しゅこう、しゅにじ; primary rainbow)”で、雨滴内で2回の屈折と1回の反射を起こした光線によって生じ、仰角(虹を見込む角度—虹の視半径)約42°の方向に見える。虹の外側は赤色、内側は青色になり、「虹の七色」になっている。さらに、主虹の外側に、やや薄暗く見える方が“副虹(ふくこう、ふくにじ; secondary rainbow)”で、雨滴内で屈折を2回、反射を2回起こした光線によって生じ、仰角約50°の方向に見える。色の配置は主虹とは逆に、外側が青、内側が赤になっている。それなら、三連以上の虹も期待できるのだろうか? 副虹と同じ仕組みで3回反射した第三次の虹の光の経路は確かに存在するが、現れるであろう方向は、太陽側の空、太陽から約40°のところになるため、空自体も明るく、虹の暗さも相まって発見は不可能だろう。されども、三本目、時には四本目の虹が見られることがある。それは、水面に反射した光によってできる虹(反射虹)である。また、主虹と副虹の間は反射光の来ない領域で、“アレキサンダーの暗帯”と呼ばれている。

虹の字は“虫”と“工”の字からできていて、中国語で“虫”は蛇を“工”は貫くことを意味する。古人は虹を天空を貫く大蛇(二龍・竜)に見立て、虹にも雌雄があると考え、前者を虹(雄)、後者を霓・蜺(雌)と呼んだそうだ。鮮やかな虹ばかりが決して虹ではない。淡いながらも霓・蜺も立派な虹だと思える。このことは教育・研究においても言える。成果が注目を浴びるような主虹であっても、そうでない副虹(見る場所で主虹にもなる)であっても、どちらも紛れもなく、虹そのものである。もちろん、自分よがりの虹は認められないが、副虹が見えない、あるいは主虹以外は認めたくない人々がいるからといって、副虹の存在を否定できないし、すべきではない。教育・研究の虫となって工(学)を極めれば、字のごとく虹になれると信じたい。

太陽を背にして、ホースで水をまくと、人工虹を観察することができる。同じ原理で、ごく小さいプラスチックビーズを黒用紙に張り詰めて、光を当てると、人工虹ができる。そこで、DVDに光を当てて同様に人工虹が作れないか試してみた。光源とカメラの位置を調整することにより、見事に虹のリングを撮影することができた。久しぶりに子供に返った気分を味わった。虹は何歳になっても永遠の憧れであり、夢を運んで来てくれるそんな気がする。(システム理工学部教授)

千里眼



大学を取り巻く環境が急速に変化しつつある中、各大学は生き残りを受け、新しい学部設置など改革を積極的に推進している。中でも研究・教育に関する外部資金の獲得は、経営面の充実のみならず、各大学の社会的評価をアピールする絶好の機会でもある。この度、本学から申請した「東アジア文化交流学の教育研究拠点形成」がグローバルCOEプログラムに採択された。本学の申請プログラムが、研究環境の整備された国立大学を制してCOEに採択された意義は大きい。▼本プログラムの拠点リーダーを務める文学研究科の陶徳民教授は復旦大学・大阪大学、ハーバード大学等で研究歴を持つ国際派の研究者である。プリンスン大学の故マリウス・ジャンセン先生は、かつて陶先生に「日本の優れた研究者は控えめな方が多く、英語圏への発信も不十分なため、国際的にあまり知られていないのが残念です」と語った。今回のプログラムには、このジャンセン先生の言葉が生かされているという。本学のCOEプログラムの邁進を、そして、関西大学の更なる発展を期待したい。(伏見 英俊)

大阪大学と学術交流協定

共同研究や情報の交換など

本学大阪大学は、両大協定に基づいて行う事業として、①共同研究、講義、シナポジウム等の実施および研究者の交流、②両大学が相互に関心を有する分野における情報および資料の交換、③大学院生および学部学生、社会人受講生等

の交流、④その他、双方が必要と認める事項の展開が、平成十九年度は、

本学が今後、採択された共同研究の展開が検討されており、大学院生も加するプログラムとなる予定である。(学長談)

本学は今後、採択された共同研究の展開が検討されており、大学院生も加するプログラムとなる予定である。(学長談)

本学は今後、採択された共同研究の展開が検討されており、大学院生も加するプログラムとなる予定である。(学長談)

本学は今後、採択された共同研究の展開が検討されており、大学院生も加するプログラムとなる予定である。(学長談)



ケート連盟会長の橋本聖子さんをはじめ、日本スケート連盟コーチで校友の佐藤信夫・久美子夫妻、各界関係者らを迎えた。



伝統に学んだ環境共生技術を用いた現代住宅



風土に溶け込んだ伝統的住宅のデザイン

本学が今後、採択された共同研究の展開が検討されており、大学院生も加するプログラムとなる予定である。(学長談)

教育後援会創立60周年 橋本聖子さんらを迎え アイスアリーナで式典

昭和二十二年に結成された教育後援会は、「大学と家庭のかけ橋」をモットーに諸事業を幅広く展開しているが、今年創立六十周年を迎え記念式典およびアイスショーを、七月一日、高槻キャンパスの関西大学アイスアリーナで開催した。



ケート部名譽顧問で日本スケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんをはじめ、日本スケート連盟コーチで校友の佐藤信夫・久美子夫妻、各界関係者らを迎えた。

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

ケート連盟会長の橋本聖子さんを

学の実化賞など表彰

本学における研究活動をおよび募集した次の各賞に

本学における研究活動をおよび募集した次の各賞に

本学における研究活動をおよび募集した次の各賞に

本学における研究活動をおよび募集した次の各賞に

文化財修復テーマに国際シンポジウム

本学が進める壁画保存など

本学が進める壁画保存など

本学が進める壁画保存など

本学が進める壁画保存など

国際シンポジウム

新発見「豊臣期大坂図屏風」の魅力

新発見「豊臣期大坂図屏風」の魅力

新発見「豊臣期大坂図屏風」の魅力

新発見「豊臣期大坂図屏風」の魅力

アジア文化交流研究センター

第3回国際シンポジウム開催

第3回国際シンポジウム開催

第3回国際シンポジウム開催

第3回国際シンポジウム開催

オープンキャンパス日程決まる

名称	日程
Summer Campus —千里山1st.Stage—	7月29日(日) 7月30日(月)
Summer Campus —高槻—	8月4日(土) ＜場所＞高槻キャンパス＞
Summer Campus —千里山2nd.Stage—	8月25日(土)
Autumn Campus	11月17日(土)
Fresh Campus	2008年3月22日(土)

※開催時間は、いずれも10時から16時まで

関西大学理工学

国際シンポジウム2007
環境とライフサイエンス分野におけるASEAN諸国との連携

国際シンポジウム

新発見「豊臣期大坂図屏風」の魅力

アジア文化交流研究センター

第3回国際シンポジウム開催

クラファン・アンダーグラウンド

満場、講演など聞き入る

五月二十九日、関西大学 株式会社アンクラージュ、財団法人社会開発研究 長と多摩大学理事長の野 長一夫アンクラージュ最高 顧問による開会の挨拶に引 続き、川島隆夫東北大 加齢医学研究所教授により 「脳を知り認知症を予防す



多数の参加者で熱気あふれる会

る」と題された基調講演が 行われた。その後、白石真

平成20年度に大学院心理学研究科を新設

臨床心理学専門職大学院は 平成21年度開設

先にお知らせした、第三 百四十三号とあり、本学 での平成二十年四月から、 心理学部大学院と社会学部 心理学部心理学研究科を開設 することとなった。

この研究科は、認知・発 達心理学専攻と社会心理学 専攻の修士課程（近年中に 博士課程に移行予定）で構 成される。当初、三番目の 専攻として臨床心理学部門 （臨床心理士養成の第一種 指定大学院）を専門職学位 課程として設置し、本研究



七月一日、児島惟謙館 階玄関ホールにて、児島惟謙像の除幕式を挙

児島惟謙胸像を除幕

たものを縮写して児島家に届けられたものであり、このたびに令孫の児島謙也氏から台座ととも に寄贈されたものである。当日は、森本靖一郎 理事長、河田隆一学長をはじめ、関係者六十人 が見守る中、胸像披露された。

第2回KUBIC受賞者が決定

高校の部優勝 京都すばる高等学校3年 菅井安希さん
大学の部優勝 関西大学 商学部3年次生 中村吏志さん

07「学生の力の本選会が 開催された。

六月二十日、千里山キャンパスB1Gホールにおいて、商学部主催の関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC20

本選会には、応募者・審査員の双方が匿名で行うダブル・ブラインド(双方向

目隠し)方式による第一次 目録し、方式による第一次 目録し、方式による第一次



大学の部優勝者 中村吏志さん

関西大学商学部 三年次生の中村 吏志さんによる 「インディーズ バンド・コミュ ニティサイト (インディーズ 分の壁をうち破る) キヤ ラクターのネーミング・コン



関西大学百二十年史完成

関西大学創立百二十年 年を記念する『関西大学 百二十年史』が刊行され た。「歴史編」と「現代 編」の二部で構成され、全四百ページのほとんど に写真を掲載、資料の 価値はむろんのこと、一 読したくなるような工夫

法学部2学科統合へ 来年度から 法学政治学科に

関西大学法学部は、二〇 〇八年度から従来の法 律学科と政治学科を統合 し、法学政治学科として新 しくスタートする。 これは、複雑化・国際化

が進み、変化の激しい現代 社会において、「法」と「政 治」がますますその重要度 を増す中で、法学部で学ぶ べきと考える学生が、政治 学を一般にわたる基礎知識 身につけ、複眼的思考でよ り良い社会創造に貢献する 能力を養うことを目的とし たのである。

商学部5専修制へ移行 来年度から

商学部では平成二十年 度からキユラムを全面的 に改正し、これまでの五〇 一制から、流通専修、フ ァイナンス専修、国際ビジ ネス専修、マネジメント専 修、会計専修の五専修制へ と移行する。

ある会計に強い「品格ある ビジネスリーダー」を輩出 することが、新しく生まれ 変わる商学部の目標であ る。(商学部)

●日本鉄鋼連盟
●鋼構造研究・教養助成事業
●平成十九年三月十日
●平成十九年三月十日
●ベストホスター賞
●大学院工学研究科M-1
●平成十九年六月六日
●アメリカ学会
●アメリカ学会清水博賞
●文学部専任講師
●豊田 真穂
(平成十九年六月十日)

数制のセミナーを核とし た専門的な学習に特化でき ること、④将来のキャリア アイナンス専修、国際ビジ ネス専修、マネジメント専 修、会計専修の五専修制へ と移行する。

●ウェビスター大学と国際 ビジネスインテリゲンシー 交換プログラムの覚書を締 結
●本学とウェビスター大学

●平成十七年度北京外国語 大学への留学期間中、協 定大学で講義を実施
●平成十七年度北京外国語 大学への留学期間中、協 定大学で講義を実施

「歴史編」は、関西大 学百二年史通史編を要約 し、現代編は、最近二 十年間の関西大学の足跡 を、主題別に各部署の教 職員が執筆した。教育・ 研究や学生スポーツ、大 学財政、高槻新キャンパ ス構想など、全篇、多彩 を極める。(年史編纂室)

●平成二十年四月から社会 学研究科産業社会学専攻 は、社会学システムデザイ ン専攻に名称変更する予定 である。産業社会学専攻 は、昭和四十六年の社会学 研究科設立当初より発達 し、社会学、経営学、経済 学、および科学技術論の学 際分野を特徴として、その 学の方法を確立することを 目標に、社会学システムデザ イン専攻として新たにスタ ートを切る。(社会学研究科)

●大学院外国語教育学研究 科プログラムの一部が、部 省英語指導力開発リンクシ ョン事業に三年連続採択 された。この事業は、各地 域の英語教員の中に英語教 育の中核的リーダーを養成 することにより、各教育 委員会が今後恒常的に教 員の指導や資質向上を図る ことを目標としている。

テーマスタディ

「社会貢献とボランティア」での学び

狭間 香代子 (文学部 教授)

昨 年の秋学期からスタートしたこの授業のねらいは、二つある。第一はボランティアに対するイメージの見直しである。人によってボランティア観はさまざまであろう。ボランティアなんて「特別な人」がしていることで、暗く自己犠牲的な行為だと思っている人も多い。しかし、阪神・淡路大震災以降、わが国ではボランティア活動に関心をもつ人が増加しており、また人びとの意識も変化している。一方的な無償の行為ではなく、自分を活かす場の一つとして、自己成長の場としてのボランティア活動の意義が認識されてきている。得るものは多い。



第二は企業の社会貢献についての学びである。学部を問わず、多くの学生が一般企業に就職する。しかし、企業の社会貢献活動についてはあまり知らないという学生がほとんどである。今や、企業価値を計る尺度は本業の経営状態だけではなく、社会貢献活動も評価の対象となっている。

講義は複数教員によるリレー形式である。特に、経験豊かな講師を外部から招き、今日的な話題を盛り込んでいる。外部講師の一人は、大手損害保会社に勤務後、現在「さわやか福祉財団」で社会貢献活動等の育成業務に携わっている。長年の企業人としての経験と現在の立場との複眼的視点から、社会貢献活動

やそれを包含する企業の社会的責任について講義してもらう。また、子どもたちの自然教室を主宰する人も講師として招いており、学校とは異なる場での教育活動に関心のある学生にはぜひとも聴講してほしい。もう一人の外部講師は、難病患者会を中心に活動している。わが国には、患者会を含めて数多くの自助グループがあるが、これらの活動の現状や課題などについての話を中心とする。

人口減少社会になり、高齢化が一層進行する中で、今こそ、人びとの「支えあい」が求められている。

「特別」が「日常」に変わる

南出 静子さん (文2)



ボランティアというと、自分とはかかわりのない「特別」な活動といったイメージを持っている人が多いと思うのですが、人が人とかかわって助け合っていくというのは、もっと「日常」的なことではないでしょうか。私は、高校時代に知的障害をもった子どもたちの運動をサポートするという活動をしていたのですが、一方的な奉仕というよりは、私自身が学んだり、気づきを与えられたりする場面がとて多かったです。自分自身の喜びや充実感につながる経験をたくさんすることができました。授業では、そのような経験を講義としてあらためて体系的に学び直すことができましたし、NPO活動などに実際に携わっている講師の先生たちから、現場の声をダイレクトに聞くことができ、毎回とても興味深い授業でした。きっと、この授業を受けることで、心の壁が崩れて、「特別」が「日常」に変わるきっかけになると思います。多くの学生のみなさんに、ぜひ受けていただきたいですね。

テーマスタディ

「大阪産業論」での学び

宮本 勝浩 (大学院会計研究科 教授)
高瀬 武典 (全学共通教育推進機構長 社会学部 教授)

現代経済についての情報は巷に満ちあふれている。しかし、実際に経済活動の現場にかかわる人たちの生の声を聞く機会は限られている。ましてや、世界を相手に仕事をする一流企業のトップ経営者が毎週入れ代わり登場してその肉声に耳を傾けることのできるチャンスなど、ふつうは得られるものではない。ところが、そういう信じがたいほど恵まれた企画が、関西大学と関西経済同友会の提供により開講されている。それが「大阪産業論」である。講師は伊藤忠商事、関西電力、松下電器、東洋紡績、サントリー、アートコーポレーション、ダイキン工業等関西を代表する企業のトップ経営者であり、その顔ぶれをWebシラバスで確認すれば、たいていの人はその豪華さに驚嘆するはずである。

このような企画が実現したのは、大阪地区の大学の連合組織である「大学コンソーシアム大阪」のセンター科目として設置されているからである。この科目はひとつの学部や大学が独占するのではなく、ともに大阪に学ぶ各大学のさ

まざまな学部在籍する学生が一緒に集まって学ぶかたちで運営されている。関西経済同友会常任幹事(大阪国際会議場社長)の萩尾千里氏(本学非常勤講師)をはじめとする経済人の方々の、大阪の将来を担う学生に、広くナマの経済を学んでもらいたいという熱意によりこのような貴重な講義が実現したのである。会場は、熱心な大学生と一般の聴講者との熱気につつまれており、活発な質疑応答が講義を盛り上げている。このようなトップ経営者の話という精神論や社会人としての心構えについてのお説教を想像する人もいるかもしれないが、実際はそのようなものではない。講師はみな多忙ななか、実に細密な準備と資料作成をして、関西経済とグローバル化のセッションの問題について現場の感覚にもとづいた非常に内容のある講義を展開している。



今年度は秋学期に開講されるが、関西大学の履修手続きとは別に、大学コンソーシアム大阪への登録手続きが必要となる。学生定員枠が満員になりしだい締め切りとなるので、受講を希望する学生はできるだけ早く教務センターに申し出ること。

大阪の魅力を再発見、貴重な経験

高鳥 裕子さん (19年3月商学部卒)



私が「大阪産業論」を受講した動機は、経済を学んでいく中で世界のグローバル化に関心を持ったからです。グローバル化が進化する中、再び日本の活躍が期待されています。日本は世界と調和できる文化や多くの技術、産業を持っており、中でも関西は特有の文化や歴史、企業家精神を持ったポテンシャルの高い地域である、ということはこの講義で学びました。関西には家電、医薬品、アパレル、食品とさまざまな産業が集積しており、元気で先進意識が高い消費者が多くいます。新製品や新サービスの約7割が関西から生まれていると知り、関西のイノベーションパワーの強さを感じました。

この講義では、関西の役割について産業、環境、文化、観光をはじめとするさまざまな観点からお話をいただき、大阪の魅力を改めて感じることができました。また、実際に企業経営や大阪の経済構築に携わる実務家の生の声は、普段は決して聞くことができない貴重なものであったと思います。自分の視野が広がり、非常に良い経験になったと思います。

学部を超えた 学びの空間

今、学びの空間は、学部を超え、大学をも超えて広がっている。インターファカルティ教育科目では、全ての学部生が学部を超えて授業にアクセスできる。また「大学コンソーシアム大阪」の単位互換制度により、他大学の授業も受講できるようになり、学びの楽しさが増している。そこで、インターファカルティ教育科目「テーマスタディ」の授業を担当している先生と受講生のみなさんに「学部や大学を超えた教えと学びの楽しさ」について語ってもらった。

テーマスタディ

「サッカーと地域社会」での学び

永井 良和 (社会学部 教授)

テーマスタディ「サッカーと地域社会」は、昨年度秋学期から開講された授業である。スポーツを題材として行うこともあり、臨場感が再現できるよう映像資料も駆使される。このため、授業は第3学舎のソシオAVホールで行われており、大きな画面と音響設備が活用されている。しかし、迫力ある映像というだけなら、テレビで試合の中継を見るのとかわりはない。スポーツパーでの観戦と、大学での授業は違うはずだ。商業化されたスポーツ興行を自動的に楽しむこと自体が、いま一度問い返される必要がある。



サッカーというスポーツをさまざまな角度から検討しなおすべく、多様な顔ぶれを講師陣に迎えた。放送現場でワールドカップの中継を担当するアナウンサー、解説者としても知られるサッカー・ジャーナリスト、ナショナルチームを追い続ける新聞記者。昨年度の受講生たちからは、現場に身をおく人ならではの講義内容だったと好評を得た。また、サッカーというスポーツが、地域社会でどのような役割を果たしているのか。クラブチームの社会貢献とは何か。そういった観点からスポーツ社会学の専門家に登壇してもらっている。メディア研究の立場から、スポーツ報道の問題点や巨大イベントに成長した大会のあり方について検討する回もある。さらには、スポーツ選手たちが直面せざるを得ない法律上の問題に関して、法律実務家の見解を聞く機会も設けている。公開授業では、女性サッカー選手から見た現在のスポーツ界の問題点をシンポジウム形式で考えた。

誤解している人が少なくないのだが、「スポーツを研究する」という課題は、「どうすれば勝てるか」とか「どうすればチームワークがよくなるか」などのノウハウを知ることでない。また、マニアックな知識をもてあそんで満足することでもない。

スポーツとは、何の意味があって社会のなかに存在しているものなのか。スポーツの担い手は、何を考えて行動すべきなのか。常に問われるべきことは、スポーツの「存在意義」である。そういった問いを大切にできる受講生が集まることを、今年も期待する。(開講は秋学期、火曜日4限。総合情報学部を除く各学部が対象)

専門分野以外で 新たな視点獲得

中江 翔さん (工2)



小学校・中学校とサッカーをしていたので、「サッカーと地域社会」というタイトルに興味を持ったのが、履修のきっかけです。

実際に授業を受けてみると、「メディアによるスポーツの商業化」、「企業だけのものではなく、地域とつながることによって盛り上がるスポーツ」など、複数の分野の先生たちから、今まで考えもしなかった視点を切り口にした講義を受けることができ、知的な刺激を得ることができました。講義の中で、実際の試合の映像を大きな画面でみることでできたのもとてもよかったです。工学部の僕は、2年次生になると専門以外の授業をとる余裕がなくなってきたので、昨年受けておいたよかったと思いました。卒業所要単位にカウントされるので、その点も助かりましたね。専門分野以外の学びによって、新たな視点を獲得し、そのことで人生が豊かになるきっかけになるのではないのでしょうか。ぜひ、みなさんにも受けていただきたいですね。

テーマスタディ

「近代大阪をあるく」での学び

橋寺 知子 (環境都市工学部 准教授)

もし初めて大阪を訪れた人を案内するとしたら、どこへ行くだろう? 海遊館やUSJのあるベイエリア、あるいはいかに大阪らしい通天閣、巨大看板のある道頓堀だろうか。いずれも、人びとをあっと思わせ、楽しませる場所である。大阪が誇る上方落語や漫才などのエンターテイメントにも通じ、大阪文化の一面を示しているのかもしれない。

しかし、大阪の街の魅力はそれだけではない。大阪は、実は平安京より古い難波宮以来、政治や経済の中心であった歴史都市である。明治期以降は、商工業の街として近代化され、大正期には「大大阪(だいおおさか)」と呼ばれる黄金時代を迎えた。北浜・本町辺りには銀行などの重厚な建造物が建ち並び、いわば大阪のウォール・ストリートであった。大阪のシャンゼリゼ通り・御堂筋は、昭和初期に地下鉄とともに拡幅・整備されたものだ。第2次世界大戦で大きな被害を受けたが、戦後の復興、そして1970年の大阪万博を経て、現在の大阪がある。かつては蔵屋敷が建ち並び、舟が行き交った堂島川に

は、阪神高速道路が架かり、ビルの隙間を縫うように車が走る。その風景は、醜くもあるが「60年代」の象徴でもある。

この講義では、このような現存する建物や風景を手がかりに、大阪の近代から現代の街の変化の様子や特徴を見る。各回とも写真資料を用いるが、古写真には今はない意外な近代大阪の風景が見いだせる。また関西大学千里山キャンパスを長く手が

けた村野藤吾や、大阪を超え世界で活躍する安藤忠雄など、大阪を代表する建築家たちが作り出した特色ある建築空間についても触れたい。近年は、一般人びとの都市景観や街づくりへの関心がとても高く、昨年度の大阪市立総合生涯学習センター「大学コンソーシアム大阪」の授業では、特に社会人受講生の向学心と大阪愛に圧倒された。建築や都市を学ぶ学生にとっては建物見学や街あるきは欠かせないが、広く他学部の受講生もこの講義を通して街あるきの面白さや魅力を再発見してほしい。



面白さやコソミたいなものをつかみ、それぞれの専攻する分野の視点から日々暮らしている街を見て、新たな発見をしてもらいたい。

建築学的に見た「大阪」

前本 麻有さん (19年3月社会学部卒)

社会学部のゼミで、大阪の文化や都市交通を学んでいました。そこで、違った学問の視点からみる「大阪」はどのようなだろう、と思ったのが受講のきっかけです。普段は「どのような社会的背景があるのだろう」という点を重視して「大阪」を見ていたのですが、この講座からは「どのような建築方法が施されているのか」「どのような建築家が関わったか」という建築学的な面から見えてくる「大阪」がありました。

また、大学生より一般市民の受講生が多かったので、その熱心に学ぶ姿勢に刺激されました。世帯を超えての情報交換は非常に楽しかったです。既存の枠組みにとらわれず学べるのが大学の醍醐味だと思います。ちょうど卒業論文と並行して受講していたので、普段の勉強の息抜きにもなるだけでなく、新たなヒントを得ることができ有意義で贅沢な時間を過ごせました。たとえ全く自分に知識がない分野でも、シラバスなどで少しでも興味があれば飛び込んでみてください。

学校法人

関西大学 平成18年度決算について



理事長 森本靖一郎

1 はじめに

平成十八年度決算は、大
学予算委員会および法人予
算会議を経て、理事会(平
成十九年五月十日、評議員
会(平成十九年五月二十四
日)で議決・承認されまし
た。

学校法人は、各設置学校
の教育・研究に係る諸事業
を予算として編成し、その
予算を目的達成に向けて執
行していきますが、平成十
八年度予算・当初予算に加
え、第一次補正に計上し
た事業は、概ね予定どおり
実施することができまし
た。

大学全入時代を迎え、既
に四年制私立大学の四割が
入定員を充足できず、ま
た、学校法人の破綻や合併
など、再編の動きが加速し
ています。
こうした厳しい環境の中
にあって、本法人は「危機
こそ好機」と捉え、教育・
研究の質を向上させ、強い
経営基盤を維持しつつ、平
成十八年度も諸改革に積極
的に取り組んでまいりまし

2 事業の概要

平成十八年度に実施した事業の主なもの、次
のとおりです。

1 創立百二十年記念事業関係



明治十九年十一月
四日に関西法律学校
として開校した本学
は、平成十八年十一
月四日に創立百二十
周年の佳節を迎えま
した。当日は、約千
人の招待者を千里山
キャンパス「BIG
ホール100」にお迎え
し、「関西創立百二
十周年記念式典」
を執り行いました。
学校法人福武学園と合併す
ることを決定し、二番目の
併設校として「関西大学北
陽高等学校」が誕生するこ
とになり、歴史と伝
統を有し、スポーツの強豪
校でもある北陽高等学校
が、関西大学第一高等学校
と切磋琢磨し、互いにより
充実した教育を行うべく準
備を進めています。



関西大学創立120周年記念式典

また、記念行事も多彩に
行い、学術行事として、関西
大学がはぐくんだ大阪と
中国学を総合テーマに記
念学術講演会を実施し、学
生関係行事として千里山
Music Campus
(音楽のPromナード)
などを開催しました。

2 教育研究活動関係

ア 政策創造部の開設
平成十九年四月、準備
部設置以来、十三年ぶりの
新学部として、文部科学省
に平成十八年六月二十八日
付で設置の届出を行いました。
た。実践的な政策立案力を
養い、豊かな地域市民へ
の貢献をひらくことをめざ
し、これまでと異なる
なる取り組みを行います。
イ 工学部を「システム工
学」に再編
工学部「環境都市工学
部」「化学生命工学部」に再
編(平成十九年四月、準備
部)平成十九年四月、工学部
を「システム工学部」環
境都市工学部」「化学生命工
学部」の三学部へ再編しま
した。これらの学部は、相互
に連携しながら、それぞれ
の教育の基本コンセプト
を明確化し、独自性をそ
つとめ、教育体制を整えてい
ます。

ウ 「教務センター」の開設
平成十八年九月、従来
の学部事務室および大学院
事務室等において取り扱っ
ていた修学上必要な諸手続
に関するサービス(教務
事務)を一元的に行う「教務
センター」を開設しまし
た。この業務は、平成十八
年八月まで継続いたしま
す。この紙面をお借りしま
す。この紙面をお借りしま
す。

また、記念行事も多彩に
行い、学術行事として、関西
大学がはぐくんだ大阪と
中国学を総合テーマに記
念学術講演会を実施し、学
生関係行事として千里山
Music Campus
(音楽のPromナード)
などを開催しました。

なお、創立百二十年記
念事業の募金活動は、平成
十八年二月に募金目標額
三十億円を達成してから
、順調に申し込み額を伸
ばし、平成十九年七月の時
点で、申し込み額の累計は
四十二億円を超えていま
す。この紙面をお借りしま
す。この紙面をお借りしま
す。

3 教育研究環境の整備充実関係

ア 関西大学アイスマリー
ナ建築工事
平成十八年七月、高槻
キャンパス第二グラウンド
に鉄骨造二階建て延面積三
千五百九十八・五〇平方
メートルのアイスマリーナを
建築しました。アイスマリー
ナの設計は、省エネルギー
の国際競争規格を満たし、
アイギニアシート、スピー
ドスケート・ショートトラ
ックの公式試合の開催も可
能な格好の仕様となっ
ています。また、スケートリ
ングの製作には、省エネル
ギー性能の極めて高いガス
小型熱源集中設置・運転台
環境制御方式を採用し、地
球環境に配慮しています。
イ 誠心館八号館(養心
館)建築工事
平成十八年十二月、体育
部の射撃部、アーチェリー
部の柔道部、剣道部の専用
練習場として、鉄筋コンク
リート造鉄骨造二階建て延
面積二千五百五十七・九二
平方メートルの建築物を
建築しました。

研究分野では、平成十八
年度の私立大学学術研究高
度化推進事業の一である
工学部がセンター後期に実施
された。四つの新学部として
が導入するとともに、経済
学部がセンター後期に実施
された。本学の研究成果を社会に
を獲得、織田信成君(文
六)が最優秀でした。

一階には射撃
場、二階に柔道
場、剣道場、ま
た、屋上には高
さ三十センチの防犯不
透物による環境に優しい、地球
環境に配慮しています。
程七十センチの射
撃場が完成しま
す。



第1学舎5号館

三は第七位と健闘しまし
た。そして、レスリング部
の前原愛さん(社三)が世
界ジュニア選手権で、日本
学生選手権水泳競技大会で
は、浦部繁さん(文三)
が優勝しました。また、団
体競技では、サッカー部が
関西学生サッカーリーグ
で、アイスホッケー部が
関西学生アイスホッケーリ
ーグで優勝しました。
文化面では、速記部が第
九十三回全日本大学速記競
技大会で優勝し、英語研究
部が全国大会で個人優勝、
団体三位という素晴らしい
成績をおさめました。ま
た、資格試験では、司法試
験に二十九人(旧司法試験
合格者十三人を含む)、公認
会計士試験に三十一人、旧
第二次試験合格者十三人、
会(東京で高橋大輔君(文
四)が日本人初の銀メダル
を獲得、織田信成君(文
六)が最優秀でした。

一階には射撃
場、二階に柔道
場、剣道場、ま
た、屋上には高
さ三十センチの防犯不
透物による環境に優しい、地球
環境に配慮しています。
程七十センチの射
撃場が完成しま
す。

三は第七位と健闘しまし
た。そして、レスリング部
の前原愛さん(社三)が世
界ジュニア選手権で、日本
学生選手権水泳競技大会で
は、浦部繁さん(文三)
が優勝しました。また、団
体競技では、サッカー部が
関西学生サッカーリーグ
で、アイスホッケー部が
関西学生アイスホッケーリ
ーグで優勝しました。
文化面では、速記部が第
九十三回全日本大学速記競
技大会で優勝し、英語研究
部が全国大会で個人優勝、
団体三位という素晴らしい
成績をおさめました。ま
た、資格試験では、司法試
験に二十九人(旧司法試験
合格者十三人を含む)、公認
会計士試験に三十一人、旧
第二次試験合格者十三人、
会(東京で高橋大輔君(文
四)が日本人初の銀メダル
を獲得、織田信成君(文
六)が最優秀でした。

結びれており、この増築により、宿泊定員は約二・五倍の五十四人となりました。

抜き取って
お読みください

貸借対照表

平成19年3月31日 (単位 円)			
資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	154,303,460,289	148,733,897,666	5,569,522,623
有形固定資産	85,367,437,984	84,280,487,547	1,086,950,437
土地	9,113,196,320	9,113,196,320	0
建物	48,713,222,934	47,566,851,542	746,271,392
構築物	7,454,832,925	7,523,819,692	79,086,767
教育研究用機器備品	7,734,181,621	7,545,732,277	188,449,344
その他の機器備品	420,444,800	465,946,249	45,501,449
図書	11,619,790,421	11,379,230,876	240,559,545
車両	2,309,263	3,110,591	801,328
建設仮勘定	309,459,700	272,400,000	37,059,700
その他の固定資産	68,936,022,305	64,453,450,119	4,482,572,186
電話加入権	18,495,561	18,495,561	0
施設利用権	106,246,108	214,781,435	18,535,327
敷金・保証金	69,487,096	21,786,096	47,701,000
有価証券	3,448,817,601	3,600,984,001	152,166,400
長期貸付金	4,366,582,628	4,360,768,323	5,814,105
退職給付引当特定資産	7,193,882,904	7,366,663,207	402,780,303
関西大学退職年金引当特定資産	749,693,007	667,817,803	81,875,204
減価償却引当特定資産	28,000,000,000	28,000,000,000	0
キャンパス整備資金引当特定資産	1,151,000,000	1,000,000,000	151,000,000
情報基盤等整備資金引当特定資産	500,000,000	500,000,000	0
工学部設備整備資金引当特定資産	192,000,000	220,000,000	28,000,000
高専施設整備資金引当特定資産	150,000,000	100,000,000	50,000,000
高専新キャンパス整備資金引当特定資産	5,000,000,000	2,500,000,000	2,500,000,000
第3号基本金引当特定資産	16,130,939,315	14,310,107,898	1,820,831,417
未使用基金売却引当特定資産	0	219,174,638	219,174,638
総合情報学部E棟/教棟借入金返済資金特定預金	168,878,085	222,870,957	53,992,872
危機対応資金引当特定資産	600,000,000	400,000,000	200,000,000
1T化推進引当特定資産	1,000,000,000	500,000,000	500,000,000
流動資産	25,740,701,696	24,355,046,978	1,385,654,718
現金・預金	22,605,612,928	21,420,953,975	1,184,658,953
未収金	1,418,088,054	2,317,291,837	899,173,883
貯蓄金	2,029,012	2,465,597	436,585
短期貸付金	610,000	605,000	5,000
有価証券	1,495,311,000	400,000,000	1,095,311,000
前受金	172,982,212	166,064,426	6,917,786
修学旅行費等預り金	44,235,614	42,135,355	2,100,259
その他の流動資産	1,832,876	5,470,688	3,637,812
資産の部合計	180,044,161,985	173,088,984,644	6,955,177,341

負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	13,025,995,911	13,138,561,010	112,565,099
長期借入金	5,082,420,000	4,874,080,000	208,340,000
退職給付引当金	7,193,882,904	7,366,663,207	402,780,303
関西大学退職年金引当金	749,693,007	667,817,803	81,875,204
流動負債	9,129,366,418	8,693,617,914	1,045,748,504
短期借入金	811,660,000	691,660,000	120,000,000
未払金	1,472,036,957	821,773,180	650,263,777
前受金	6,402,445,551	6,155,489,439	246,956,112
修学旅行費等預り金	44,235,614	42,135,355	2,100,259
その他の預り金	398,988,316	372,559,940	26,428,376
負債の部合計	22,155,362,329	21,222,178,924	933,183,405

基本金の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	138,660,798,304	134,883,495,881	3,777,302,423
第2号基本金	6,953,000,000	4,320,000,000	2,633,000,000
第3号基本金	16,130,939,315	14,310,107,898	1,820,831,417
第4号基本金	2,415,000,000	2,379,000,000	36,000,000
基本金の部合計	164,199,737,619	155,892,603,779	8,307,133,840

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 6,310,937,963	△ 4,025,798,059	△ 2,285,139,904
消費収支差額の部合計	△ 6,310,937,963	△ 4,025,798,059	△ 2,285,139,904
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	180,044,161,985	173,088,984,644	6,955,177,341

注 1 重要な会計方針
 ①引当金の計上基準
 徴収不能引当金
 債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。
 退職給付引当金
 ア 大学の教員及び職員
 期末支給額12,962,455,455円の50%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
 イ 高等学校、中学校、幼稚園の教員
 期末支給額1,294,643,728円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
 ウ 役員
 期末支給額38,862,500円の100%を計上している。
 関西大学退職年金規程に基づき、退職給付債務を引当計上している。
 ②その他の重要な会計方針
 有価証券の評価基準及び評価方法
 移動平均法に基づき原価法である。
 所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法
 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によって、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によって、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引
 リース資産の種類 リース料総額 未経過リース期末未残高
 教育研究用機器備品 749,157,048円 323,581,032円
 車両 12,285,000円 6,211,342円
 補助費 761,442,048円 329,732,374円

学校法人 関西大学 平成18年度決算について

創立120周年記念式典・祝賀会を挙げる

「財産目録」は 本学ウェブサイトで

収支計算書

学校法人は、予算によって執された結果ある決算について、文部省が定める「学校法人会計基準」に基づき、財務計算に関する書類として「収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」とそれぞれの内容表を作成し、明細の計算書を作成するものになります。

「消費収支計算書」は、当該会計年度における消費収支の均衡状態と、その内容を明瞭に示すものです。

「収支計算書」は、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すものです。この計算書は、いわば企業会計の「損益計算書」にあたるものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点「決算日」における資産・負債・基本金、消費収支差額の財政状態を示すものです。

なお、「財産目録」は、「貸借対照表」を基準にして、替えて作成したものであり、ここでは紙幅の関係上省略いたします。「関西大学ウェブサイト」に「財産目録」などの財務情報を掲載いたしておりますので、ご覧ください。

URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/zaim>

消費収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで (単位 円)					
消費収入の部					
科 目	予算	決算	差異	科 目	予算
学生生徒等納付金	31,276,327,000	31,549,566,550	△ 273,239,550	高専施設整備資金引当特定資産運用収入	20,000
授業料	23,133,622,000	23,355,135,050	△ 221,513,050	高専新キャンパス整備資金引当特定資産運用収入	500,000
入学金	2,517,460,000	2,514,740,000	△ 2,720,000	高専キャンパス整備資金引当特定資産運用収入	500,000
実験・実習料	778,078,000	782,786,250	△ 4,708,250	第3号基本金引当特定資産運用収入	346,128,000
教育充実費	4,741,517,000	4,790,715,250	△ 49,198,250	未使用基金売却引当特定資産運用収入	12,000
施設費	105,650,000	106,190,000	△ 540,000	定額金運用収入	0
手数料	2,096,291,000	3,367,178,015	△ 1,270,887,015	総合情報学部E棟/教棟借入金返済資金特定預金運用収入	2,000
入学検定料	2,063,730,000	3,336,430,000	△ 1,272,700,000	危機対応資金引当特定資産運用収入	80,000
試験料	1,504,000	996,000	△ 508,000	1T化推進引当特定資産運用収入	100,000
証明書手数料	14,886,000	12,908,100	△ 1,977,900	受取利息・配当金収入	62,243,000
大学入試センター試験実施手数料	7,939,000	7,033,015	△ 905,985	施設設備利用料	108,700,000
その他の手数料	8,220,000	9,810,900	△ 1,590,900	消費収入の部合計	△ 8,467,110,000
寄付金	727,200,000	1,071,109,268	△ 343,909,268	消費支出の部	△ 8,307,133,840
特別寄付金	606,200,000	896,700,878	△ 290,500,878	人件費	19,172,366,000
現物寄付金	121,000,000	174,408,390	△ 53,408,390	教員人件費	12,136,286,000
補助金	3,841,088,000	4,134,986,036	△ 293,898,036	職員人件費	5,798,398,000
国庫補助金	3,277,951,000	3,553,005,912	△ 275,054,912	役員報酬	70,129,000
地方公共団体補助金	563,137,000	581,980,124	△ 18,843,124	退職金	52,183,000
資産運用収入	899,625,000	1,177,385,831	△ 277,760,831	退職給付引当金繰入額	1,019,855,000
退職給付引当特定資産運用収入	71,262,000	64,696,596	△ 6,565,404	関西大学退職年金引当金繰入額	95,515,000
関西大学退職年金引当特定資産運用収入	5,426,000	32,626,870	△ 27,200,870	教育研究経費	15,997,670,000
減価償却引当特定資産運用収入	304,808,000	358,723,703	△ 53,915,703	旅費交通費	349,693,000
キャンパス整備資金引当特定資産運用収入	200,000	1,261,327	△ 1,061,327	消耗品費	1,770,718,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	印刷・製本費	325,230,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	図書費	67,773,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	借入金等利息	149,573,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	借入金利息	149,573,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	資産処分差額	398,657,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	建物処分差額	339,222,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	構築物処分差額	3,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	教育研究用機器備品処分差額	24,087,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	分別	0
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	その他の機器備品処分差額	345,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	徴収不能引当金繰入額	0
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	管理経費	1,987,725,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	旅費交通費	62,943,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	福利厚生費	47,017,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	年金	26,054,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	消耗品費	100,944,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	印刷・製本費	306,721,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	図書費	64,031,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040	通信経費	27,243,000
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413	光熱水費	27,243,000
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0	雑費	3,518,000
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		
工学部設備整備資金引当特定資産運用収入	44,000	301,413	△ 257,413		
未使用基金売却引当特定資産運用収入	0	0	0		
情報基盤等整備資金引当特定資産運用収入	100,000	709,040	△ 609,040		

資金収入は四百七十億円

人件費支出は百九十六億円

収支決算の概要

「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要について説明いたします。

① 資金収支決算

平成十八年度資金収支決算は、前掲の「資金収支計算書」とおりですが、これを総括したものが「表1」です。

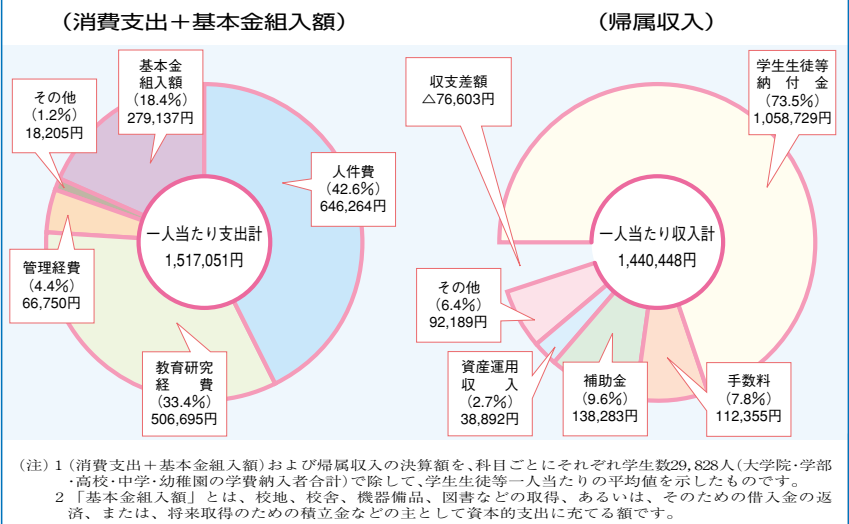
科目/予決算	平成18年度予算	平成18年度決算	差異
前年度繰越支払資金	21,421	21,421	0
当年度資金収入	43,971	47,049	△3,078
当年度資金支出	47,659	45,864	1,795
収支過不足	△3,688	1,185	△4,873
次年度繰越支払資金	17,733	22,606	△4,873

科目/予決算	平成18年度予算	平成18年度決算	差異
A 帰属収入	40,298	42,965	△2,667
B 基本金組入額	△8,467	△8,307	△160
C 消費収入(A+B)	31,831	34,658	△2,827
D 消費支出	37,860	36,943	917
当年度消費収支差額(C-D)	△6,029	△2,285	△3,744
前年度繰越消費収支差額	△4,026	△4,026	0
翌年度繰越消費収支差額	△10,055	△6,311	△3,744

② 消費収支決算

平成十八年度消費収支決算は、前掲の「消費収支計算書」とおりですが、これを総括したものが「表2」です。

平成18年度 消費収支決算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賅う収入」



③ 貸借対照表

入から充てた金額をもち「維持すべき金額」として、これが「基本金組入額」と呼ばれているものです。

④ 監査報告書

私立学校振興助成法第四十条第三項に基づき、監査法に基き、監査報告書を作成し、公表するものとされています。

学校法人関西大学 平成18年度決算について

創立120周年記念式典・祝賀会を挙げる

平成十八年度決算は、前掲の「資金収支計算書」とおりですが、これを総括したものが「表1」です。

平成十八年度決算は、前掲の「消費収支計算書」とおりですが、これを総括したものが「表2」です。

資金収入の寄付金のほかに入から充てた金額をもち「維持すべき金額」として、これが「基本金組入額」と呼ばれているものです。

私立学校振興助成法第四十条第三項に基づき、監査法に基き、監査報告書を作成し、公表するものとされています。

設立委員長の監査報告書 平成18年5月9日

学校法人 関西大学 理事長 森本 新一郎

監査人 トーザン 橋本 昌彦 (監査士) 尾神 洋之 (監査士)

当監査人は、学校法人関西大学の平成18年度(平成18年4月1日から平成18年3月31日まで)の財務諸表、ならびに、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表(貸借対照表)の作成、修正、訂正、並びに、基本金組入額等の取扱いについて監査を行った。この監査の結果、当監査人は、当監査人の責任において、監査対象の財務諸表は、真実かつ正確であると認め、監査報告書を作成し、公表するものと認める。

当監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に照らして監査を行った。監査の結果は、当監査人が前掲の監査対象の財務諸表が、いかなる点においても、真実かつ正確であると認め、監査報告書を作成し、公表するものと認める。監査人は、監査の対象として意見を表明するべき点に留意し、監査報告書を作成し、公表するものと認める。

当監査人は、上記の監査結果が、学校法人関西大学(昭和56年法律第18号)に準拠して、学校法人関西大学の平成18年3月31日をもって終了する会計年度の財務諸表の作成及び修正の取扱いが、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に照らして適切であると認め、監査報告書を作成し、公表するものと認める。

以上

今年度スタート

グローバルCOEプログラムに採択

平成十九年度からスタートしたグローバルCOEプログラムにおいて、本学文学研究科が申請したプログラム「東アジア文化交渉学の教育研究拠点形成」周縁アプローチによる新たな東アジア文化像の創出」が人文科学分野で採択された。五年前に開始された21世紀COEプログラムも含めて、本学としては初めてのCOE採択であり、今後五年間をかけて世界トップレベルの拠点形成に向けての挑戦がスタートする。

(拠点サブリーダー・文学研究科教授 藤田 高夫)



東アジア文化交渉学の教育研究拠点形成
 —周縁アプローチによる新たな東アジア文化像の創出—
 Project for the Cultural Interaction Studies of East Asia by Peripheral Approach

COEとはなにか

COEはCenter Of Excellenceの略語で、「卓越した研究拠点の意匠である。文部科学省が進める大学改革支援策の柱として、国際競争力のある世界最高水準の拠点形成を目的として、平成十四年21世紀COEプログラムが開始された。

初年度は生命科学、化学、材料科学、情報・電気・電子、人文科学、学際・複合・新領域の五分野、翌十五年度には医学系、数学、物理学、地球科学、機械・土木、建築

その他工学、社会科学、学際・複合・新領域の五分野、最終の十六年度には革新的な学術分野のみが募集され、三年間で二百七十四件のべ百三十六学の申請が採択された。COEに採択されることは、大学における研究水準の高さの証明のように認識され、多くの大学がしのぎを削ってCOE獲得に奮闘することとなった。

その21世紀COEプログラムの初年度が終了した今年、後継事業としてグローバルCOEプログラムが策定された。その目的は、「21世紀COEプログラムの評価、検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国大学院の教育機能を一層充実・強化し、世界最高水準の

評価された 関西大学の「アジア学」

そのなかで、本学が今回のグローバルCOEプログラムに採択されたことは、まさに快挙といつてよからう。本学が申請した人文科学分野では、21世紀COEプログラムに名を連ねていたアジア学を中心とする拠点がすべて姿を消し、本学の「東アジア文化交渉学」のみが採択された。本年度採択された二十八大学は四大学しかなく、21世紀



陶 徳民
文学研究科教授
(拠点リーダー)

COEの採択実績を持つに拠点を決定された私学は、本学だけである。これは、本学が長年培ってきたアジア学の伝統と実績が、教育・研究両面の基盤として、他の21世紀COEの拠点を決して劣らないものであると高く評価された結果であろう。

本学には学術リソースとして我が国でも屈指の充実した総合図書館がある。とくに、内藤文庫・増田渉文庫など、アジア関係の特色ある個人文庫は内外の研究者から愛される存在である。研究実績としては、半世紀を超える伝統を持つ東西学術研究所がある。東西文化の交流と比較を旨として昭和二十六年に設立された同研究所は、石濱謙太郎、藤本勝次、大庭倫一、藤田本学名誉教授、など著名なアジア研究者が所長として研究をリードし、優れた研究業績を次々と刊行してきた。さらに、同研究所の中核研究を特化させて平成十七年に開設されたアジア文化交流研究センターは、文部科学省私立大学研究高度化推進事業の一環である学術フロンティア拠



藤田高夫
文学研究科教授
(拠点サブリーダー)

研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力のある大学づくりを推進することにある。言葉を変換すると、21世紀COEプログラムで形成された拠点の中から卓越した拠点を選別し、そこに重点的な支援を行う、ということであり、今回のグローバルCOEプログラムが「COEのCOE」と呼ばれたのはそのためである。

21世紀COEとグローバルCOEとの違いを見ても、採択率はほぼ半数に絞られること、募集分野は同じでも、採択はほぼ半数に絞られること、選定された教員の熟意がなければ、今回の採択はなかったであろう。さらに、大学全体の姿勢も重要なポイントであった。単発の研究プロジェクトとしてCOEを終わらせるのではなく、五年間の支援事業が終了した後も、COE拠点の継続と発展を大学の将来構想のなかにも位置づけて保証することが求められているからである。この点で、河田学長の専門が中国語であり、理点の意義と重要性を十分に理解した上で、学長のリーダーシップのもとでの拠点形成を力説したことが、審査員に強い印象を与えたことは疑いない。

文化交渉学の意義

では、今回の申請で本学が提唱する「文化交渉学」とは何か。それは、国家や民族という分析単位を超えて、一定のまとまりを持つ文化複合体を想定し、その内部での文化生成、伝播、接触、変容に注目しつつ、トータルな文化交渉のあり方を複眼的で総合的な見地から解明しようとする学問研究である。そのためには、従来の人文学の学問分野ごとの研究枠組の越境と、ナショナルな研究枠組の越境の、二つの越境が求められる。



多様な文化交渉の連鎖による複合体

従来の文化交流研究は、主として個別専門分野ごとの文物や制度に関する事例研究の積み重ねとして形成されてきた。言語、思想、民族、宗教、文化、歴史を学問分野ごとの知見が個別叙述的に蓄積される一方で、文化交流の全体像を把握する方法の省察は、なお未開拓な分野である。また、従来の文化交流研究においては、国家単位でのナショナルな研究枠組が前提となり、たとえば日中交流史のように二国間の文化交流という枠組で研究が行われてきたのが現状である。そこでは、二国間であっても、個別の研究は日本と中国のナショナルな枠組にそれぞれ拘束されており、越境的で総合的な研究組織、研究フィールドは未形成されていまい。

東アジア世界については、ナショナルな枠組を超えた視点として東アジア文明、東アジア文化圏という概念が存在する。しかしこうした文明論・文化圏を前提とする研究は、その文明・文化の中心となる高度な文明を安易に設定する点で、「文明・未開」中心一周辺の図式を脱却できない。そのため、本来は双方向的な文化交流の本質を把握し、文化交渉の多様な諸相を平板に捉えることとまっつてい。文化交渉学は、従来の文化交流研究の成果をふまえた上で、それをより高次元な学問研究へと飛躍させるために用いられるべきである。

今回のプログラムは、東アジアを研究対象として、その際に従来の研究動向に対して十分な批判的検討を加えない場合には、水が高きから低きに流れるように中国から周辺諸国へという文化の伝播という一方通行の理解から免れることができる。そのため今回の研究計画が用意した方法論が「周縁コア」である。

ローコアである。従来の文化研究は、文化の周縁部分を切り捨て、コアを純化させてそこからある文化の本質を取り出すという方向で展開してきた。しかし、文化接触は文化のコアの部分は「周縁でこそ発露する。逆に、豊かな可能性を持つ周縁に立脚し、そこからコアを見直す」ということで、東アジアにおける文化交渉の多様な姿を理解することが可能となる。たとえば中国文化をこのような視点から捉えおすと、これらでの東アジア世界の文化像は一新されることになる。「東アジア文化交渉学」がめざす新しい東アジア文化像は、このような方法的転換を経て把握される。文化接触の連鎖の結果構築された文化複合体としての東アジアである。

「国際的に卓越した教育研究拠点」を形成することは、本学が当該分野で世界的なハブとして機能すること、関西大学に行けば文化交渉学のすべてがある、と認識されること他ならない。文化交渉研究のすべてとは、学術コンパス、方法と理論、研究ネットワークの三に集約されている。今回の拠点計画には、研究会や国際シンポジウム、教員類の要約の刊行、関連するアーカイブズの構築など、通常の共同研究活動に加え、国際文化交渉学会の創設が含まれている。これまで形成してきた

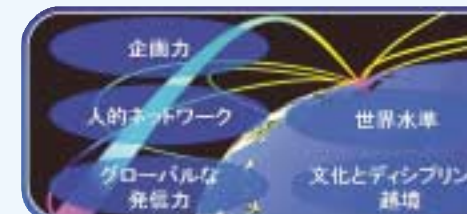
以上、紹介してきた教育と研究のプログラムが所期の成果を上げたとき、本学は文字どおり「世界水準の教育研究機関」としての地位を手にするようになる。これを五年間で成し遂げるのは、もちろん至難の業である。しかし、本申請を採択したグローバルCOEプログラム委員会は「実現性の高い計画」という詳細を与えてくれたのであり、実現に向けて全力を尽くすのが今回の拠点メンバーに課せられた責務である。すべての関大人のご理解とご支援を心からお願ひする次第である。

国際的に活躍する人材の養成

このような研究スタンスを身につけた人材輩出が今回の拠点の目的である。学問分野の研究枠組、ナショナルな研究枠組を超え、東アジア世界的複合体として把握する視座を獲得した若手研究者は、従来のアジア文化研究のスキルを革新していく存在となる。そのような研究者を関西大学から世界へ送り出していくために、多様な人材養成プログラムが計画されている。

まず、人材養成の拠点となる本学文化交渉学を改組し、「文化交渉学専攻」を新たに開設する。平成二十年四月開

設をめざして、現在設置準備が進められている。入学定員は、博士課程前期課程十二人、後期課程六人を定めており、後期課程の半数は留学生を想定している。後期課程の学生は、上記の研究活動にもリサーチ・アシスタントとして参加し、アルバイトなどをせずに研究に専念できるように経済的支援を受けることができる。さらに、COE特別研究員、COE助教、ポストドクトラル・フェローなど多様な形態で若手研究者を公募し、自立的な研究を行える経済的環境を提供する。日本の人文学研究の弱點として、海外への発信力の乏し



若手研究者国際学術フォーラム

さかぬから指摘されてきた。今回の人材養成プログラムでは、アカデミックな情報発信、すなわち国際学会での発表や討論、国際学術誌への投稿を可能とするための外国語スキルアップ・プログラムが組み込まれている。目標は母国語もふくめて、英語十二ヶ国語の習得である。大変な負担のように見えるが、欧米のアジア研究ではこれが標準である。また、アジアの主要な大学の教室をインターネットに結んだ国際共同授業も、外国語の運用能力を高める実践の場として、毎週開講される。

さらに、本拠点が養成する若手研究者は、将来世界のリーダーとして世界を舞台に研究活動を展開することが期待されている。本学には、国際学会や海外の大学での講演に招聘され、世界的に活動されている研究者が多数いるが、



た国際的ネットワークをさらに拡大し、世界各地の文化交流研究者を結集して構成されるこの学会は、主に英語論文からなる国際学術誌を持ち、エディトリアルボードには、第一線で活躍する国際的研究者を名を連ねる。そうした研究者はCOE客員教授として毎年複数名が本学に招聘され、授業の一部を担当する。また、拠点での共同研究にも参加して、世界的水準から本学の教育研究活動に関与することになる。

課外活動行事予定 7月15日~10月11日

- ◆ボクシング部
 - 全日本選手権大会大阪府予選 7/15(日)・16(月・祝)・21(土)・22(日)
 - 近畿大学 全日本選手権 近畿ブロック 9/7(金)~9(日)
 - 滋賀県立信楽高校 国民体育大会 10/3(水)~8(月・祝)
 - 秋田県男鹿市・会場未定
- ◆馬術部
 - 第40回関西学生障害馬術大会(対関西学院ほか) 7/15(日)・16(月・祝)
 - 兵庫県・三木ホースランドパーク
 - 第31回全日本ジュニア障害飛越選手権大会 8/2(木)~5(日)
 - 山梨県馬術競技場
 - 第45回関西学生馬術選手権大会
 - 第43回関西学生馬術女子選手権大会
 - 第32回関西学生女子総合馬術大会
 - 第28回学生馬術東西対抗戦 8/25(土)・26(日)
 - 大阪乗馬協会
 - 第36回全日本総合馬術大会 9/7(金)~9(日)
 - 山梨県馬術競技場
- ◆拳法部
 - 第10回日本拳法全国都道府県大会 7/22(日)
 - 大阪市中央体育館
 - '07全・日本拳法総合選手権大会 9/16(日)
 - 大阪市中央体育館
 - 第33回日本拳法龍峰杯優勝大会 10/7(日)
 - 吹田市立武道館(洗心館)
- ◆水上競技部
 - 関西学生選手権 7/27(金)~29(日)
 - 大阪市・大阪プール
 - 日本学生選手権 9/7(金)~9(日)
 - 東京辰巳国際水泳場
- ◆卓球部
 - 第77回全日本大学対抗卓球選手権大会 8/2(木)~5(日)
 - 尼崎市記念公園総合体育館
 - 平成19年度関西学生卓球秋季リーグ戦 8/30(木)~9/7(金)
 - 京都府立体育館ほか
- ◆なぎなた部
 - 全日本学生なぎなた選手権大会 8/5(日)
 - 岡山県総合グラウンド桃太郎アリーナ
- ◆弓道部
 - 全日本学生弓道選手権大会 8/7(火)~10(金)
 - 日本武道館
 - 平成19年度リーグ戦 9/17(月・祝)・24(月・祝)・10/7(日)
 - 会場未定
- ◆ハンドボール部
 - 平成19年度男子第46回女子第37回西日本学生ハンドボール選手権大会 8/8(水)~12(日)
 - 名古屋市・名東スポーツセンターほか
 - 平成19年度関西学生ハンドボール秋季リーグ戦 9/1(土)~10/21(日)
 - 大阪体育大学ほか
- ◆吟詩部
 - 全国学生詩吟連盟 8/8(水)~10(金)
 - 河内長野ユースホステル
- ◆邦楽部
 - 関西学生邦楽連盟祭 8/9(木)
 - 吹田メイシアター中ホール
- ◆アーチェリー部
 - 第47回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会(予選) 8/12(日)~14(火)
 - 安野市・いきいきランド交野ふる広場
 - 第29回関西学生アーチェリーフィールド選手権大会 9/4(火)・5(水)
 - 京都府・白梅スポーツクラブ
- ◆テニス部
 - 関西学生テニストーナメント予選・本戦 8/16(木)~9/20(木)
 - 予選一各大学テニスコート
 - 本戦一大阪市・鞆テニスコート
 - 全日本学生テニストーナメント 8/31(金)~9/8(土)
 - 東京都・有明テニスの森
 - 関西大学対抗リーグ戦 10/6(土)~14(日)
 - 各大学テニスコート
- ◆ヨット部
 - 関西学生ヨット個人選手権大会 8/18(土)・19(日)
 - 兵庫県・新西宮ヨットハーバー
 - スナイブ級関西選手権大会 470級関西選手権大会 9/24(月・祝)
 - 兵庫県・新西宮ヨットハーバー
 - 関西学生ヨット選手権大会 10/6(土)・7(日)
 - 兵庫県・新西宮ヨットハーバー
- ◆ホッケー部
 - 第35回西日本学生ホッケー選手権大会 8/18(土)・20(月)・22(水)
 - 京都府・グリーンランドみずほホッケー場
- ◆軽音楽部
 - No Border Rock Fes. 8/20(月)・21(火)
 - BIG CAT

- 神戸外大ジョイントライブ 8/24(金)
- 兵庫県・三宮「VARIT」10大学ライブ 9/5(水)
- SITE 神戸 阪大ジョイントライブ 9/14(金)
- 千里山キャンパス KUシンフォニーホール
- 関関戦ライブ 9/28(金)
- 千里山キャンパス KUシンフォニーホール
- ◆ユースホステルクラブ オープンキャンパ 8/23(木)~25(土)
- 大阪府立青少年野外活動センター
- ◆バドミントン部 西日本学生バドミントン選手権大会 8/24(金)~31(金)
- 福岡県北九州市・会場未定
- 関西学生バドミントン秋季リーグ戦 9/6(木)~20(木)
- 大阪市立中央体育館ほか
- ◆ユネスコ研究部 ユネスコスクールキャンパ 8/28(火)・29(水)
- 吹田市立少年自然の家
- ユネスコスクール 9/23(日)
- 吹田市立千里市民センター図書室
- ◆ゴルフ部 関西学生男子二・三部校 学校対抗戦 9/26(水)・27(木)
- 滋賀県・日野ゴルフ倶楽部
- 関西学生女子一部校 学生対抗戦 9/18(火)・19(水)
- 兵庫県・芦屋カンツリー倶楽部
- ◆柔道部 関西学生柔道体重別団体優勝大会 9/1(土)・2(日)
- 岸和田市総合体育館
- ◆アメリカンフットボール部 関西学生アメリカンフットボール Div.1 リーグ戦(対神戸大) 9/2(日)
- エキスポフラッシュフィールド
- 関西学生アメリカンフットボール Div.1 リーグ戦(対近畿大) 9/29(日)
- エキスポフラッシュフィールド
- ◆剣道部 第46回秋季大阪学生剣道優勝大会 第36回秋季大阪学生剣道女子優勝大会 9/2(日)
- 大阪産業大学
- 第55回関西学生剣道優勝大会 第31回関西女子学生剣道優勝大会 9/9(日)
- 大阪市中央体育館
- ◆射撃部 第53回秋季全関西ライフル射撃選手権大会 第12回秋季全関西女子学生ライフル選手権大会 9/5(水)~8(土)
- 大阪府・能勢ライフル射撃場
- ◆バスケットボール部 平成19年度関西学生バスケットボールリーグ戦 9/8(土)~10/21(日)
- 門真市・なみはやドームほか
- 平成19年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦(2部) 8/26(日)~9/6(木)
- 各大学体育館
- ◆バレーボール部 平成19年度関西学生バレーボール連盟秋季リーグ戦 9/9(日)~10/28(日)
- 本学ほか
- ◆林琴拳法部 第41回全日本学生大会 10/7(日)
- 日本武道館
- ◆陸上競技部 秩父宮賜杯第60回西日本学生陸上競技対抗選手権大会 9/14(金)~16(日)
- 岐阜県・岐阜メモリアルセンター長良川競技場
- 第32回関西私立四大学対抗陸上競技大会 9/24(月・祝)
- 豊中市・服部緑地陸上競技場
- ◆マンドリンクラブ 依頼演奏 9/16(日)
- 吹田市立山手小学校
- ◆アイスホッケー部 サマ・カップ(対早稲田大・明治大・東洋大) 9/19(水)~23(日)
- 北海道苫小牧市・会場未定
- ◆フエニング部 牧杯ジュニア選手権・世界ジュニア予選会 9/22(土)・23(日)
- 京都府・豊國神社
- ◆ソフトボール部 第39回秋季リーグ戦 9月旬
- 万博記念公園



平成19年度 第1種・第2種 給付奨学生証授与式

第4種	第3種	第2種	第1種	今年度採用人数
185人	236人	33人	11人	

奨学生に採用された諸君は、勉学に励むとともに、自己の目標を達成し充実したキャンパスライフを過ごすことを期待する。

○アーチェリー部 石井さん(社)が、六月三日に大阪大学特設アーチェリー場で行われた第二十七回関西学生アーチェリーテクニカルカップにおいて、トータル二五八点で優勝した。

○アイスホッケー部 六月十八日に行われた第五十六回関西学生氷上競技選手権大会において、決勝で関西学院大学を五―一で破り、二十七日より十三日破り、二十七日より十三日

平成十九年度学部・大学院新入生を対象に新しい給付奨学金制度が決定した。新制度は、従来の「学部給付奨学金」「大学院給付奨学金」の各制度を「関西大学学部・大学院給付奨学金」に統合し、再編成したものである。第1種(学部生対象)および第2種(大学院生対象)には、奨学生に採用された諸君は、勉学に励むとともに、自己の目標を達成し充実したキャンパスライフを過ごすことを期待する。

また、上記種別ほか、家計支持者が地震や台風等の天災により入学的または物的被害を受け、家計が急変した場合には、授業料、教育充実費および実験実習料の合計相当額を上限に給付する第5種がある。

なお、学部および大学院の上位年次生および専門職大学院生には、従来の奨学金制度が適用される。

○重要事項 守谷翔さん(経四)が六月十日に行われた第二十三回関西学生選抜選手権大会男子八百五〇級で、トータル二百八十キを上げ、自己ベストを更新し、同大会三日目の優勝を果たした。

六月八日から十日に国立競技場で行われた第七十六回日本学生対抗選手権大会において、山根愛良さん(社)が女子三段跳で二位、三村有希さん(社)が女子走高跳で三位、中村悠子さん(文三)が女子走幅跳で四位、田中夢絵さん(社三)が女子三段跳で五位の成績を収めた。

(スポーツ振興課)

関西大学学部・大学院給付奨学金 新制度運用開始

関西大学が、平成十九年度学部・大学院新入生を対象に新しい給付奨学金制度を運用開始した。従来の「学部給付奨学金」「大学院給付奨学金」の各制度を「関西大学学部・大学院給付奨学金」に統合し、再編成したものである。第1種(学部生対象)および第2種(大学院生対象)には、奨学生に採用された諸君は、勉学に励むとともに、自己の目標を達成し充実したキャンパスライフを過ごすことを期待する。

夏季休業中の施設利用(7月29日~9月20日)

施設	利用時間帯			
	平日	土・日・祝日	8/11~20	
教務センター	9時~19時	休業	休業	
各学舎オフィス	第1学舎	9時~17時	休業	
	第2学舎		休業	
	第3学舎		休業	
	第4学舎		休業	
授業支援ステーション	第1学舎	9時~17時	休業	
	第2学舎		休業	
	第3学舎		休業	
	第4学舎		休業	
ローライブラリー	8時30分~23時			
	以文館・尚文館・見高権蔵館内自習室・第2学舎内自習室 通常通り開室(各室ともメンテナンスのため閉室することがある)			
千里山中央体育館	9時~20時	9時~17時	9時~17時(届け出により許可)(8/18は休業)	
	9時~20時	9時~17時	9時~17時(届け出により許可)	
千里山東体体育館	9時~20時	9時~17時	9時~17時(届け出により許可)(8/12・18は休業)	
誠之館2・3・6号館	9時~20時	9時~17時	休業	
千里山中央体育館1階(サテライトステーション)	休業			
凜風館(学生生活課・ボランティアセンター事務室)	9時~17時	休業	休業	
凜風館(食堂・物販)	2階食堂10時45分~15時 3階物販10時30分~16時30分(8/27は休業)	休業	休業(旅行のみ営業)	
KUシンフォニーホール	9時~17時	休業	休業	
誠之館5・7・8号館(凜風館・新凜風館・養心館)	9時~20時	9時~20時	9時~20時(届け出により許可)(8/12・18は休業)	
保健管理センター	9時~17時(診察受付時間は9時30分~12時、13時30分~15時30分)	休業	休業	
心理相談室	9時~16時	休業	休業	
総合図書館	10時~20時(9/17は休業)	(土)10時~18時 (日)15時~18時	9/15は休業	
I Tセンター	9時~16時50分	休業	休業	
キャリアセンター	9時~17時	休業	休業	
キャリアセンター工学部分室	9時~17時	休業	休業	
就職情報資料室	9時30分~16時50分	休業	休業	
キャリアデザインルーム	13時30分~16時30分	休業	休業	
エクステンション・リードセンター千里山キャンパス事務室	10時30分~21時	休業	休業	
総合情報学部オフィス	9時~17時	休業	休業	
高槻キャンパスオフィス	9時~17時	休業	休業	
図書室	9時~17時	休業	休業	
体育館	9時~17時	休業	休業	
関西大学アイスアリーナ	9時~22時	9時~22時(届け出により許可)	9時~22時(届け出により許可)	
エクステンション・リードセンター事務室	13時30分~21時	休業	休業	

関大通信 第346号

平成19年(2007年)7月13日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は10月12日発行の予定です

学生スタッフ 活躍中

STAFF

放課後教育活動「ニュースクール」プロジェクトリーダー 奥野 真也さん(文1)

関西大学人間活動理論研究センターが開校する放課後教育活動「ニュースクール」...

「食」をテーマに小学生と野菜作り

え、風土や環境、歴史について学びながら、レシピ作り、調理実習を行います。...



私は現在入試広報課の学生スタッフとして、オープンキャンパスなど高校生を対象とした入試広報業務のサポート...

入試広報スタッフ

柴原 怜美さん(文3)

文学部英語英文学専修に所属し、将来単に英語を教えるのではなく、英語で何かを教えることのできる教員をめざしています。...



笑顔心がけ関大の魅力アピール

高校時代の担任の先生に、私が高校生を前に大学の魅力をアピールしていることを伝えると、非常に驚かれます。...

総合情報学部SA

伊藤 亜衣さん(情3)

学生の質問に答えスキルが向上

総合情報学部では、ボスター、CMやドラマなどの映像作品を企画・制作を学生自身が行う体制の実習科目が開講されています。...

を受けたり、困っている学生のサポートを務めます。人見知りな性格なので、自分から声を掛けることが苦手だったのですが、この二年間で、やっとならなれることができました。...



第2学舎授業支援ステーションSA

山中 純さん(大学院工学研究科M2)

ユーザーの視点に立つ開発者に

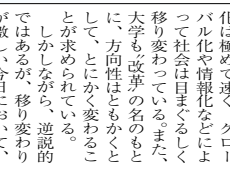
A 同士で考え、一人の先生からの連続する期限に対するリンクエントの場合は、それぞれ別のリンクエント票に記載することになりました。...



SAの日常業務としては、先生からの要望や連絡事項を「リンクエント票」に記入すること、それに従って、授業中の出席票の配布・回収や授業開始前と終了後にパソコンやプロジェクターの設置・撤収を行うことなどがあります。...

僕が授業支援SA(スチューデントアシスタント)として働いている理由は二つあります。一つ目は、将来めざしている精密機器メーカーの技術職として就職した場合、その先におそらく携わることのない事務の仕事を経験してみたいため。...

昨年、本学が百二十周年を迎えたのに続き、今年には社会部が四十年、教育後援会が六十周年を迎えた。本学のように歴史のある大学では、毎年のように何かからの記念日を迎える。...



村中 徳明(むなかのりあき) 教授
専門は計算機システム工学分野。現在は、知能感性意思情報処理、安全保障、防衛情報処理、バーチャルリアリティなどの各システム設計の研究に取り組んでいる。...

今月の表紙
編集後記
▶ 編集後記 ◀